



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/~kivosedai/gohu/wazekkou/index.htm>

力の庭に、春の芽吹き

“落の臺”

立春(2/4)から雨水(2/19)と季節がすすみ、如月(きさらぎ・2月)もあと一週間です。立春が過ぎてからは寒暖の差が激しく、2/8は雪が積もって氷点下。翌週の2/15は、快晴で風も弱く、18℃の暖かさ。しかし週中は1ケタの気温で朝昼の寒暖差も10℃ありました。そして2/22は南風が吹いてナント20℃超え、ジェットコースター並みの変化です。

これには「力の庭」の梅の木も驚いています。本校には種類の異なる3本の梅の木があります。種類はわからないのですが、そのうちの1本は紅白の絞り咲きをする早咲き種で、1月下旬にはチラホラと蕾(つぼみ)が開き始めていたのですが、この暖かさで、慌てて満開となりました。そして地面には“フキノトウ”も芽を出しています。

2/17(火)の朝、花壇のお世話をして下さっているスクール・サポート・スタッフの方に、芽を出していることを教えて頂き、早速見に行ってみると、金木犀(東側)と梅の木(西側)の北側2か所に、春到来を告げる「落の臺(フキノトウ)」が芽をだしていました。フキノトウの花の蕾(つぼみ)で、雪解けの頃に獲れる春の山菜を代表するひとつです。最近のご家庭の食卓に上がることは少ないと思いますが、少し苦味があり、春休みに旅行に行った先の旅館の夕食に、天ぷらや和え物料理として出てくることがあります。



梅の花 R8,2,4



フキノトウ R8,2,18

フキノトウを見た2/17は、ちょうど旧暦1月1日の「旧正月」でした。日本では馴染が薄いですが、中国や台湾、シンガポール、ベトナムなどの東アジアの国々では、旧正月で新年を祝う「春節」などの風習があります。横浜中華街などでは、毎年この時期、とても華やかなお祭りを行っています。巷にはだんだんと春が近づいてきています。都立一般入試も終わり、明日から学年末考査が始まり、いよいよ学校にも春が近づいてきました。



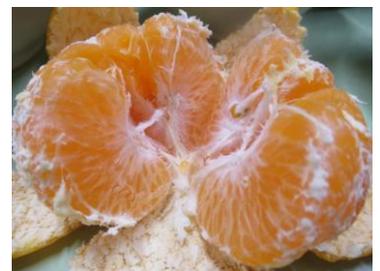
◎受検前日の給食は、「ソース勝つ丼」&「負けないで」

2月21日(土)は、受験シーズンの大詰め、都立一般入試です。前日の給食は、恒例の「ソースカツ丼」。運動会の前日にも登場し、大きな1枚肉がご飯にのって、ボリューム満点でした。そしてとろみでポカポカ体が温まるフワフワ卵の「むらくも汁」に、海のミネラルたっぷりの「ツナとヒジキの和え物」と、体調を整える品々が登場し、デザートのみかんは、春を感じるネーミングの「はるみ」でした。そして昼の放送(給食時)では、受験生応援リクエストとして、ZARDの「負けないで」がスピーカから流れ、生徒たちは、曲を聴きながら、勝つ丼を食べて、気持ちもUPしたのではないのでしょうか？



■給食コラムより

『今日は「ソースカツ丼」です。ささやかな「げんかつぎ」の気持ちを込めました。みかんは「はるみ」という品種です。甘味が強く、ビタミンCを多く含む柑橘で、寒い季節にうれしい旬の果物です。しっかり食べて、今日はゆっくり過ごしてくださいね』



※ 給食コラム：栄養士さんが毎日書いて下さっている献立紹介や生徒へのメッセージです。

■清瀬五中生の活躍のご紹介 《吹奏楽部》

「都道開通式」にて、お祝いの演奏を披露 2/14(土)

東京都が整備中の道路「新東京所沢線」の「柳瀬川（清瀬橋）～新小金井街道」間が開通し、その開通記念式典が2月14日にあり、吹奏楽部の生徒の皆さんが、清瀬の子供たちの代表として式典に参加し、お祝いの演奏を披露するとともに、テープの「ハサミ入れ」や、「くす玉開披」のドラムロールとファンファーレを担当しました。

この式典への参加・協力は、東京都道路局より依頼を受けたもので、すでに進路が決まり、受験を終えている3年生の部員数名にも協力をしてもらいました。ありがとうございます。

清瀬市の発展につながる場面に立ち会い、協力できたことが、生徒の皆さんの社会経験の一つになれば幸いです。ご苦労様でした。

この式典には、清瀬中学校の吹奏楽部も参加し、隣り合ったテントで、それぞれが一曲ずつ、演奏を披露し、沢山の地域の方々が沿道で聴いて下さりました。2校の共演も、楽しかったです。良い経験でした。

♪ 演奏曲：メモリーズリフレイン



沿道で多くの地域の方々が、鑑賞下さいました。



■「和心(わこころ)」 1年生道徳講演会 2/17(火)

日本の伝統や心をテーマに、日本舞踊家の花柳琴臣氏を講師にお招きして、あいさつや、日頃何気なく行っている箸の使い方などの所作や習慣、マナーなどの中に、古（いにしえ）の時代から、日本人の考え方や心情などについての講演をして頂きました。

“揃える”ことの意味や価値、“おじぎ”に込める思い、“空間(場)”に敬意を払う仕草などについてお話を頂き、挨拶や整理整頓など、当たり前の事として行っていることに、「和の心」が隠されていて、時折、スポーツ大会などで、日本チームの行動が海外で称賛されることがありますが、そこには、日本の人が持つ「価値観」があります。今回の講演は、生徒の皆さんが、そのことについて考えるきっかけになればと思います。



■小学6年生の体験入学 2/20(金)

2月20日(金)の午後に、清瀬市立の五つの中学校で、同時に新入生体験授業を実施し、小中連携をしている清瀬第十小学校や、本校に入学を予定している児童の皆さんに来校してもらいました。

5時間目は、生徒会役員生徒が中心になり、スライドを使いながら学校生活の紹介をし、そのあと中央委員会のメンバーも加わり、9つのグループに分かれて、事前に児童のみなさんから頂いていた「中学校生活への質問」をもとに、懇談会を開きました。6時間目は教員による模擬授業を体験してもらいました。児童の皆さんには、中学校生活のことをすこしでも身近に感じてもらえたと思います。生徒の皆さんのご協力に感謝します。ありがとうございました。

